

【ご注文承ります】

全校會注集評 聊齋志異 (修訂本) (全4冊)



〔清〕蒲松齡著／任篤行輯校／人民文学出版社

2016年10月／税込14,580円(423333)

『全校會注集評聊齋志異』は、蒲松齡の手稿本、康熙本などを底本とし、青柯亭本、鑄雪齋本、異史本、二十四卷本、但明倫批本などを校本に、それまで一般的とされていた12巻の構成を8巻に改め、諸家の評注（王世禎、馮鎮巒、但明倫、王金範、方舒岩などの評語及び呂湛恩、何垠の注釈）を集録し、重要な部分を新たに考訂、その正誤と典故の出所を明記したものである。本書は、齊魯書社より2000年に出版された初版の修訂本。校注者の任篤行は、一部篇目の底本をより良い版本に入れ替え、注釈校記も大幅に書き直し、実に8年の歳月を費やして修訂本の原稿を完成させた。今回、本文は縦書繁体字、「双行挾注」の版組で人民文学出版社より刊行する。各抄刻本の序跋、品題、重要版本編次対照表などの重要資料を附す。



全元賦校注 (全10冊)

韓格平主編／吉林文史出版社

2016年9月／税込38,880円(422401)

本書は、江蘇古籍出版社版『全元文』(全61冊、李修生主編)に収録された賦類作品に、より一層の輯佚、校勘、注釈を施した新しい整理本元賦総集。作者別年代順に作品を収録し、関連の総集、別集、類書、方志、賦話などから《全元文》未収の遺篇佚文を徹底的に網羅する。また、賦文に存在する版本の相異、署名の混用、欠字脱字を全面的に校勘し、難解な用語及び逸聞逸事、典章制度、固有名詞などに注釈を加える。作者小伝と作品提要を附す。

*価格は消費税8%込みで表示しております

ご注文・お問い合わせ